

 いわみざわ公園バラ園 www.iwamizawa-park.com

夏の園芸

30度を超える暑い夏。どうにかして暑さをしのいでいる状態の植物達。毎年書いていることですが、鉢ものは特に水やりが重要です。植物がくたっとなったら朝晩の涼しい時間帯に鉢底から滴るまでたっぷり。肥料も追肥は避け植物の状態を見ながらの液肥などがよいでしょう。そして黄色くなった葉や病気の葉はとってゴミや堆肥に。下に落としたままにははいけません。また、この時期園芸店ではポット植えのまま長く店頭に並んでいて疲れた苗を値段を下げて売っていることがあります。もし暑い時期に予定外にそのような苗を購入して鉢植えする場合は、市販の培養土をそのまま使うか培養土に腐葉土や堆肥を1・2割混ぜる程度で植え付けましょう。経験上肥料は入れない方が早く生き返るような気がします。固形の肥料はお盆以降の暑さが和らぎ元気になった時に。また、植える時苗を活力剤につけると早く元気になります。例年お盆を過ぎると夜は涼しい北海道。今年はどんなことになるのでしょうか。どうぞ植物に無理させないように。そして人も無理せず元気に夏をのりきりましょう。

今月の便り



(きのした)

サラシナショウマ

サラシナショウマは、若芽を茹でて水にさらして山菜として食べたことに由来する名前で、北海道・本州・四国・九州に分布する植物です。山地の落葉樹林下や、林の縁、草地の半日陰地で、排水がよい肥沃な土地を好む高さ100センチから150センチの多年草です。山菜由来の名前ですが他のショウマに比べ苦味が強くあく抜きに時間がかかるため食べる人は少ないようです。山菜の図鑑にものっていませんでした。夏から秋にかけて咲く白いブラシのような花は花穂が20センチ～30センチにもなるので庭に植える人も多くなっています。また園芸種、洋種には葉が黒っぽいものや花穂が薄いピンクになるものなどがあり庭を彩ります。緑の葉に白い斑の入る斑入りの品種もありますが他のものより成長が遅いようです。花は、花弁と萼片は早く落ち長いしべが残って目立ち、また甘いような特有の香りがあるので昆虫もたくさん集まってきます。

(いとう)

盛夏の花木(2)

今月になると暑さがピークを迎え、道内の野山や草地、林縁ではアジサイの仲間や赤色帯びた園芸品種もあるノリウツギ、桃花のホザキシモツケ、白花のクサギが咲き誇ります。クサギは庭木としては使われませんが、果実は5裂した赤紫色の萼と青紫色の果実とで構成され、色の対比が鮮やか。そしてこれらは良質な染料としても利用されています。一方で海外から導入されたガーデン向きの花木として、ブッドレヤ、スモークツリーが庭を彩ることでしょう。それと夏を印象づけるムクゲ、アメリカフヨウも忘れてはいけません。さらに、つる性のノウゼンカズラ、ツルアジサイ、イワガラミ、ナツユキカズラ、ノブドウも庭に立体感を持たせたり、アクセントに使うことができますが、適切な剪定を行って暴れないようにして下さい。

(かわはら)

クレマチスの楽しみ方

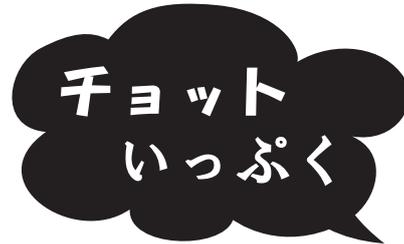
つる植物の女王と言えばクレマチスと言うくらい昔から庭で大活躍。花色、花型、特にバラには少ない青色系の花色も多いです。バラとの花合わせは素晴らしい景観を作ってくれます。しなやかなつる性という草姿を生かして誘引したり樹木に絡ませたりと仕立て方も楽しめます。クレマチスの生育環境は春から秋まで栽培可能です。日当たりと風通し品種によっては加湿も嫌うのでお店で選ぶときは、説明タグをよく読み、庭の環境に合わせて選ぶことです。因みに私もマイブームでクレマチス魅力に夢中です。(たかはし)

水のやりすぎ

芽が出てすぐや定植直後の水のやり過ぎには注意が必要です。植物の根は、土が乾いている状態にあると、水分のある方向に伸びようとする性質があります。でもその時期に土が湿り過ぎている状態だと、根は広く張らず生長を弱め、根の張りが浅くなることがあります。そうすると、養分が足りなくて倒れてしまう可能性があります。また、苗が小さい時に土の中の水分が多いと、伸びすぎたり、茂り過ぎる傾向になるものもあるため、水のやり過ぎに注意しましょう。また、水道ホースで直接水やりをするとき水の勢いに要注意しなければなりません。地表近くの根を傷めます。花が咲いたり果実が大きくなる時期は光合成が盛んになり、養分もそれだけ必要となるため、土を乾燥させないように注意するのが一般的です。咲いている花に直接水をかけてしまうのは禁物です。花粉が水で流されてしまったり、花が傷んで弱ってしまうと開花期間が短くなり、その結果受粉・受精の期間も短くなることで実が付き難くなる可能性があるため注意が必要です。(注) トマトは過湿に弱く果実肥大期の過湿で裂果を引き起こす可能性があります。(ながやす)

野菜の植えかた

野菜を植えるのに重要なことのひとつに、株と株の間隔です。家庭菜園で植える場所が少ないからと言って株間を詰めると成長が悪く美味しいものが収穫できません。そこで一般的な家庭菜園で植えるものの株間・畝幅は表のとおりです。



名	科目	連作	畝幅	株間	条数
トマト	ナス科	×	180cm	40～50cm	2条植
ナス	ナス科	×	180cm	60cm	1条植
ピーマン	ナス科	×	150cm	45cm	1条植
キュウリ	ウリ科	×	270cm	60cm	1条植
西洋種カボチャ	ウリ科	×	250cm	75cm	1条植
日本種カボチャ	ウリ科	×	270cm	75cm	1条植
スイカ	ウリ科	×	270cm	75～90cm	1条植
トウキビ	イネ科	○	150cm	30cm	2条植
ツル無インゲン	マメ科	×	120cm	35cm	2条植
ツル有インゲン	マメ科	×	200cm	45cm	2条植
枝豆	マメ科	×	60cm	25cm	1条植
大根	アブラナ科	2～3年○	60～70cm	25～30cm	1条植
ジャガイモ	ナス科	×	60～70cm	30cm	1条植

ひとつき ひとバラ



文：曾根 浩太
(いわみざわ公園バラ園)



第八十四回

フロリバンダローズ

スカーレット ボニカ

Scarlet Bonica

作出国：フランス

作出者：Meilland

作出年：2015年

ハーディネスゾーン：不明

繰り返し咲き

交配：Kronjuwel® × (Rote Max Graf × Deborah®)

当園では一番花が終わりを迎え、二番花が咲き始めてきました。一番花よりも大きさや勢いが無い二番花ですが、これを鑑賞できるのは暑さが本州程厳しくない北海道の特権ですね。ただ、最近の暑さと雨の少なさを考えると今後の生育にどれだけ影響があるのか、心配なところではありますね。このまま温暖化が進めば北海道でも二番花をつけさせない管理になってくるかもしれません。

今回ご紹介するバラは、フランス Meilland 社のボニカシリーズからスカーレットボニカです！樹高、幅ともにチェリーボニカより少々小さめで、高さ 70 cm 程度、幅は 60 cm 程度に収まるコンパクトなフロリバンダです。花は濃いめの赤で中輪の丸弁咲き。連続開花性も素晴らしい。葉っぱは光沢のある濃い緑色。照葉は基本的に病気に強いですが、その中でも特に耐病性に優れていて、黒星病やうどんこ病等にもほぼかからずに 1 年を過ごすことができます。大きな受賞歴はありませんが、耐病性、耐寒性、開花性に優れた素晴らしいバラだと思います。剪定は割りばし程度の太さになります。凍害もあまりないのでしっかりと芽を見極めて剪定することができます。

交配を辿っていくと、チェリーボニカ同様、ボニカ'82 との関連は薄そうではありますが、チェリーボニカの種親の一つでもある Debora が花粉親の一つであったり、もう片方の花粉親の Rote Max Graf はハイブリッドコルデシーなのでハマナシの血が入っています。さらに種親の Kronjuwel は 1999 年に ADR 受賞の経歴を持っており、育種家の強い耐病性をもつバラを育種したいという思いが透けて見えるようですね。

園内では整形式花壇の外側の方に植栽されています。また、今年はオールドローズの小径へと続くまっすぐな道にも植栽しました。いずれもチェリーボニカとのセットで植栽されています。チェリーボニカのマットな葉に明るめな赤色の花とスカーレットボニカの照葉で濃い赤色の花との比較を楽しんでいただけたらと思います。

春に植えた株が枝も伸ばしもう既に中々の大きさまで生育をしています。このスピードで大きくなってきて、ややコンパクトな形で落ち着いてくれるのはとても嬉しいですね。お庭でも即戦力になること間違いなしです。今年植栽箇所は、秋には花を咲かせるので、ぜひともご覧になって頂きたいなと思います。

～ いわみざわ公園内のご利用について ～

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、8/22（日）までの間

- ・札幌市 ・緊急事態宣言対象地域 ・まん延防止等重点措置対象地域
- からのご利用をお断りさせていただきます。

このようなお願いをするのは大変心苦しく、ご迷惑をおかけいたしますが、皆さまの健康を守るため、主旨をご理解いただくとともにご協力をお願いいたします。

今月の市民園芸講座のご案内



- 8月1日（日） 13:00~15:00 折り紙でバラをつくろう 初級
料金：無料 定員：15名 講師：バラ園スタッフ
- 8月28日（土） 10:00~12:00 ばらゼミ⑥ 魅惑のオールドローズ②
料金：無料 定員：18名 講師：工藤 敏博さん ローズグロウワ
- 8月29日（日） 13:00~15:00 花木・庭木の剪定と管理
料金：無料 定員：18名 講師：川原 元信さん フラワーマスター

※最新の開催状況についてはお電話かホームページにてご確認ください。

電話：0126-25-6111 ホームページ：<http://www.iwamizawa-park.com/>

※材料費のかかる講座は、講師の方の準備等の都合上、開催日3～4日前までにお申込みをお願いいたします。

新型コロナウイルス感染防止策として、以下の点についてご了承ください。

× マスクの着用がない方

× 37.0℃以上の熱がある方

上記に該当する方は受講をご遠慮いただいております。

- ・定員制限を設けているため、定員に達してしまいお申込みを受け付けられないことが頻繁にあります。連絡なしの欠席はお申込みをされたい方のご迷惑となりますので、ご遠慮ください。
- ・事前申し込み無しに当日に飛び入り参加される方は、定員制限などの関係から受講をお断りさせていただく場合がございます。
- ・密集を避けるため、各講座の定員につきましては、予告なく変更する場合がございます。
- ・換気の為、2方向の窓・扉を開放いたします。暖かい格好でお越しくください。
- ・密接を避けるため、講座中の私語は謹んでいただきますようお願いいたします。